



福祉おやべ

こだま

第213号

2022年1月発行

社会福祉法人
小矢部市社会福祉協議会

〒932-0821
富山県小矢部市鷺島15番地
TEL (0766) 67-8611
FAX (0766) 67-4896
<https://www.oyabe.or.jp>



やんぼらクラブ開催!



～フライングディスク大会参加とお手伝い～



もくじ

やんぼらクラブ.....	1
新年のご挨拶、フードドライブおやべ	2
日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事業	3
小矢部善意銀行.....	4
3市合同施設ボランティア受け入れ担当職員研修会、 脳トレの時間です♪.....	5
地区社協紹介だより【菟波地区社会福祉協議会】	6
福祉作文【中学生の部】、善意の窓.....	7
大雪に備えて!!、つづやき	8

昨年12月5日(日)、小矢部市民体育館においてやんぼらクラブを開催しました。

今回は、市身体障害者協会主催の「フライングディスク大会(ディスタンス競技)」へお手伝いに行きました。事前に競技のルールとお手伝いの方法、そして競技に参加するためにディスクの投げ方を教えていただきました。

競技中は、身体障害者協会のみなさんと飛んできたディスクの落下地点をマークしたり、ディスクを拾ったりと大活躍でした。

また、競技では好成績が続出!表彰された参加者もいました。

さまざまな障がいをお持ちの方と交流を深めながら、フライングディスクを楽しみました。



新年のご挨拶

小矢部市社会福祉協議会 会長 日光 久悦

皆様方には、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、ここ2年以上に亘り私たちの生活に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症は、感染者数の増減を繰り返しながら世界中に感染拡大を続け、新たな変異ウイルスの発生等により未だ収束時期が見通せない状況にあります。コロナ禍が長期化する中で、多くの高齢者の方々が外出を控え、フレイル（虚弱）が進行する懸念や、生活困窮の問題、社会的孤立の進行や生活課題の把握困難など様々な問題が発生しています。

このような厳しい状況の中にあって、本会の地域福祉事業の取り組みに対し、引き続き多大なご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

高齢化や人口減少が進む今日、コロナ禍という未曾有の危機克服後を見据えた取り組みが重要となっています。国では、社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」を目指しています。

本会におきましても、地域福祉の推進を目的として策定しております「第5次小矢部市地域福祉活動計画」の達成に向け、関係各機関・団体の皆様とのネットワークを活かしつつ、役職員が一体となって明るい地域社会実現のために鋭意努力してまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方のご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

小矢部市社会福祉法人連絡会

第4回「フードドライブおやべ」を実施

昨年12月12日（日）市総合保健福祉センターにおいて、市内10の社会福祉法人から成る小矢部市社会福祉法人連絡会が、「フードドライブおやべ」を実施しました。今回は、各法人の職員の皆さんのほかに、この取り組みに賛同いただいたアルビス(株)小矢部店、いなば農業協同組合女性部、小矢部市食生活改善推進協議会、小矢部市環境保健衛生協議会、日本製麻(株)ボルカノ食品事業部、ユニー(株)ピアゴ小矢部店からご寄付をいただいた食品等を配布しました。

ひとり親家庭の方や生活にお困りの方など約70名の方が来場し、思い思いの食品を持ち帰られました。来場者からは、「助かります。ありがとうございます。」「いつも感謝しています。」との声が寄せられました。

連絡会では、今後も「地域における公益的な取り組み」について考え、安心して暮らせる地域づくりを目指してまいります。

ご協力いただきました各法人職員の皆さま、そして、この取り組みにご賛同いただきご寄付いただきました団体・企業の皆さま大変ありがとうございました。



このようなことで困っていませんか？

～日常生活自立支援事業のご案内～

- 福祉サービスの利用の仕方がわからない。
- 公共料金等の支払いに自信がなくて、誰かに相談したい。
- 通帳や印鑑、証書などの大切な書類をよくなくしてしまう。
- 市役所などから届く書類をどうしたらいいのかわからない。



高齢者や障がいをお持ちの方、1人で生活していくには不安のある方が安心して暮らせるよう、生活支援員が定期的に訪問し、お手伝いします。

お気軽にご相談ください。（相談は、無料です。）



◇サービスの内容◇

①福祉サービス利用のためのお手伝い

- ・福祉サービスの利用に関する情報提供や相談など

②日常的な金銭管理のお手伝い

- ・毎日の生活に必要なお金の出し入れ
- ・公共料金などの支払い手続きなど

③日常生活に必要な手続きのお手伝い

- ・住民票の届出や印鑑登録などの行政手続きなど

④大切な通帳や書類等のお預かり

- ・預貯金通帳や印鑑、年金証書など重要書類の保管

【問合せ】小矢部市社会福祉協議会 TEL 67-8611

一時的な資金の緊急貸付に関するご案内

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、休業や失業等により、生活資金でお悩みの方々に向けた、償還免除の特例を設けた緊急小口資金等の特例貸付を実施しています。申請期限は、令和4年3月末まで延長しています。詳しくは、市社会福祉協議会までお問い合わせください。

・緊急小口資金

貸付上限金額	据置期間	償還期限
20万円以内	1年以内	2年以内

※無利子・保証人不要です。

・総合支援資金

貸付上限金額	据置期間	償還期限
(2人以上) 月20万円以内 (単身) 月15万円以内 貸付期間：原則3月以内	1年以内	10年以内

※無利子・保証人不要です。

【問合せ】小矢部市社会福祉協議会 TEL 67-8611

小矢部善意銀行「善意の窓」より

大谷中学校「自分で選ぶボランティア」

昨年11月10日(水)、大谷中学校の生徒の方々より、手作りの雑巾をご寄付いただきました。

大谷中学校では、地域の一員として主体的にボランティア活動に取り組むために「自分で選ぶボランティア」という活動が実施されています。

今年2回目の活動ということでしたが、コロナ禍で未だ施設訪問ができないことを踏まえ、小矢部市デイサービスセンターへ皆さんで作った雑巾にメッセージカードを添えてご寄付くださいました。



石動青葉保育園 ～収穫を感謝して～

昨年11月19日(金)、石動青葉保育園園児の皆さんより、小矢部善意銀行へかわいい笑顔とともに野菜や果物、手作りカードのご寄付をいただきました。

毎年『収穫感謝日』に家から野菜や果物を持ち寄り、秋の豊かな実りを喜び、神様の恵みに感謝をこめて礼拝した後、「おじいちゃんやおばあちゃんへ届けてください。」とご寄付いただいています。

ご寄付いただいた野菜や果物、手作りカードは市内の福祉施設を利用されている皆さんにお届けしました。



小矢部市連合婦人会「愛の一品運動」



昨年12月14日(火)、小矢部市連合婦人会の皆さんより、市内の7施設へご寄付をいただきました。現金とともに新品のタオル、石鹸や洗剤と同会ボランティアサークルの皆さんがつくられた座布団、布製チューリップの花束をお届けいただきました。

何かと慌ただしい年末に、心温まるご寄付をありがとうございました。

小矢部善意銀行では、預託（寄付）された方のご意思により、市内の福祉事業への活用や福祉施設・団体などへ預託させていただいています。



地区社協紹介だより

菟波地区社会福祉協議会を紹介します

当協議会では、日頃の見守りや顔を合わせてお話を伺うお声掛け訪問、小地域でふれあい・生きがい作りとして交流活動をされているグループへの支援、交流を深める場として長寿会や食生活改善推進協議会などと連携しいきいきサロンや三世代クリスマス会等、地域の皆様のつながりを大切に活動しています。

コロナ禍のため、行事の開催が制限され思い通りの活動ができない中、感染予防の対策を図りながら、今後も地域に暮らす住民同士の交流と支え合いを広げていく地域づくりを推進し、住み慣れた地区でいつまでもお元気で安心して暮らせるよう、地域の皆様と共に活動して参りたいと思います。

主な活動内容

- ふれあいいきいきサロン
- ケアネット活動
- お茶飲みグループ活動支援
- 三世代ふれあいクリスマス会
- ひとり暮らし高齢者の集い
及びお声掛け訪問
- 歳末たすけあい訪問
- 老人福祉施設への訪問支援
- 広報活動
- 福祉連絡会及び福祉推進研修会
- 赤い羽根共同募金活動

ふれあいいきいきサロン



検温の実施



食改のお話

長寿会高齢者学級(共催)



三世代ふれあいクリスマス会



常任役員会



福祉連絡会



地区ごとの検討会

歳末たすけあい訪問・お声掛け訪問



老人福祉施設訪問支援



広報活動



広報部会

福祉作文を紹介します

小・中・高校生の最優秀作品を3回シリーズで掲載しています。

中学生の部

★最優秀★

私と障がい者

津沢中学校一年 上木 那奈



私の身近に、ある女の子がいます。その女の子は、体は健康ですが、重度の知的障がいがあり、特別支援学校に通っています。

学校が大好きでいつもここにこに通っています。食べる事が大好きで、まだエジソンばしを使っていますが、上手に食べています。給食を楽しみに学校に行っているのかもしれない。

家にいる時は、よくテレビを見ています。アニメが大好きで一緒に見えています。アニメの歌に合わせてダンスを踊っています。手の動きをまねして主人公になりきっています。

そんな部分もありますが、とてもいやな部分もあります。言葉をまったく話すことができないので、自分の言いたい事を伝える為に、身ぶりや指を指して伝えたり、紙に書いたりして伝えていきます。しかし、上手く伝わらないと、「あー」と大きな声を出して暴れたり、泣いたりします。とてもわがままで自分の思い通りにならないとすぐに手を出してたたいてきます。そんな時がすごくくやしいです。

それに、自分の身の回りの事をするのが下手くそで手助けが必要です。トイレはよく失敗します。鼻が出て上手く拭けません。着替えをしても前と後ろがいつも逆です。外に出かけた時、動きが健常児と違うから一緒に

いるのが恥ずかしくなった事があります。

実は、その女の子は、私の姉です。三つ年上ですが、まるで三歳の保育園児と変わりません。手助けが必要な為、いつもお母さんを姉に取られてしまいます。私はいつもがまんをしています。たたかれて泣いたことがいっぱいあります。でも私の姉であり家族として助けてあげないといけません。

ずっと一緒にいるので、姉の言いたい事がわかります。テレビが見たい、トイレに行きたい、おなががすいた、お母さんと呼んでいるなどです。

私は、私なりに姉に対してできることを手助けしています。お母さんのようにはできないけど、お母さんがすぐに来れない時には、少しだけお母さんの替わりになってあげています。

「どつちが姉なんだかわからない。」と、いやなことをいっぱいされたから、心の中에서도戦いながら姉と接しています。

健常児の姉弟の人には、この気持ちはわからないと思いますが、障がいを持った姉弟をお持ちの人なら私の気持ちが少しわかるかもしれないと思います。

まだ心の底から手助けしてあげたい、とは思えないのですが、心の中でいっぱい戦いながら、私にできることを少しでも姉の役に立てるように手助けしてあげたいと思っています。そして、健常児のみなさんも老若男女問わず身の周りの障がい者を助けて、少しでもみんなが楽に生きていけるような社会になってほしいと思います。

善意の窓

(順不同・敬称略)

(令和三年十月十八日～十二月十七日受付分)

◇一般の福祉事業へ

《物品預託》

- ・ユニー株ピアゴ小矢部店

◇指定預託

《金員預託》

- ・小矢部市連合婦人会

三〇、〇〇〇円

《物品預託》

- ・小矢部市立大谷中学校

- 米永天音、永山康平、山岸悠南、松永功大、松田梨華、高田舜友、黒田雄大朗、宮本葵、橋本恵良、青嶋明花里、宮西美玖、森いと、清水聖波

- ・石動青葉保育園

- ・小矢部市連合婦人会



関連記事を4ページに掲載しています。

～大雪に備えて！！～

◇ 事前の「外出しない準備」が肝心！ ◇

もしもに備えて、数日間外へ出なくても済むように下記のことを準備しておきましょう。また、使用できるかも確認しておきましょう。

☆ 生活用品 ☆

- 懐中電灯 ラジオ 予備の乾電池
- カセットコンロ・カセットボンベ 防寒具
- 毛布 使い捨てカイロ、湯たんぽ 灯油などの燃料



☆ 食料品等 ☆ そのまま食べられるものや簡単な調理で済むものがおススメ！

- おにぎり、菓子パン 缶詰、缶切り お菓子
- 飲料水、お茶 インスタント食品 レトルト食品
- 常備薬（常用薬がある人は、残りを確認しておきましょう。）



※ その他、自分が必要だと思うものは準備しておきましょう。



◇ 大雪になったら・・・◇

- ・不要不急の外出は控えましょう。無理な外出で、思わぬケガや事故に遭う恐れがあります。
- ・無理に避難しないようにしましょう。視界が悪くなり、方向感覚が失われます。

◇ 降雪が落ち着いたら・・・◇

- ・「帽子」、「手袋」、「滑りにくい靴」などを着用し、転倒してもけがをしにくい恰好で出かけましょう。
- ・積雪後に気温が上昇すると屋根の雪が落ちてきます。軒下で除雪作業は注意しましょう。
- ・自力での除雪が困難な場合は、業者に依頼しましょう。高齢者等除排雪支援事業（費用の一部を助成）の対象になる場合があります。詳しくは、市健康福祉課（☎67-8605）へお問合せください。



つぶやき

新年、明けましておめでとうございます。

「一年の計は元旦にあり」と言いますが、皆さんは、今年の計画や目標をたてられましたか？毎年、新年を迎え「今年こそは！」と意気込むのですが、なかなか続かず・・・ということもあるかと思います。

今年は、寅年。これから成長する物事の「象徴が生まれる（始まる）」年だそうです。今年こそ、新しいことに計画的に取り組んでみるのも良いかもしれませんね。



次回の
福祉おやべ
「こだま」は、
3月10日(木)
発行です。
お楽しみに♪

